

令和5年度

学校評価報告書



綾瀬市立落合小学校

グラフの凡例

- そう思う
- ややそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- わからない

※グラフ中の数字は百分率（％）であらわした数字です。

実施日・調査対象 令和5年12月11～18日

(児童 283人)

(保護者 177人)

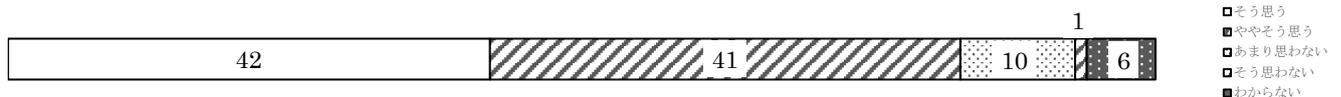
(教職員 18人)

1 学校は、「よく考え、粘り強い子」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、児童が自ら課題と向き合ったり、他者との関わりを通して対話的に学んだりする“いきいきと学びを楽しむ姿”の実現を目指し、授業づくりを行っています。そのために、児童にとって魅力ある課題を設定することや、友達と自ら学び合うことのできる授業展開を積極的に取り入れています。特に今年度は、授業で分かったことは何だったのか自分の言葉で書く「振り返り」に力を入れ、児童のメタ認知や概念的知識の形成を図りました。また個別指導による学習支援を活用し、学習の基礎・基本の定着を図るとともに、児童一人ひとりにとって教室や学校が安心して前向きに学習に取り組める環境となるように努めています。

児童 設問 「わたしは、進んで学習に取り組んでいる。」



保護者 設問 「わが子は意欲的に学習に取り組んでいる。」



教職員 設問 「私は『よく考え、粘り強い子』を育てるために、授業の工夫や改善に取り組んでいる。



今後に向けて

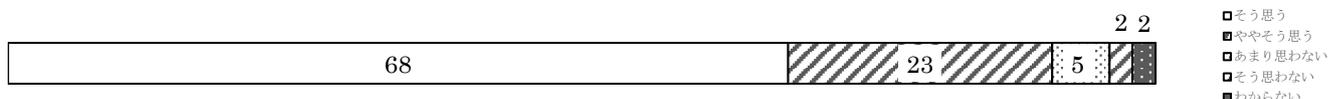
83%の児童が進んで学習に取り組んでいると答えています。学校生活の大部分を占める授業において、このように感じられることが、児童の自律的に学ぶ力の育成につながっていくと考えます。これからも、教員間で目指す児童像を共有し、いきいきと学ぶ姿の実現に向けて授業改善に取り組んでいきます。「振り返り」にも継続して取り組み、児童が自分自身の学びの過程や変容を自覚できる場面を大切にしていきます。

2 児童は、運動会や委員会、係活動、たてわり活動に積極的に参加している。

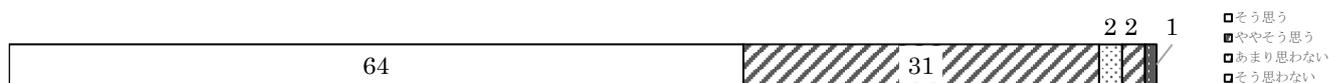
学校の取組

本校では、各行事の中で児童一人一人が向上心を持ち、人と関わり合いながら主体的に行動できるように努めています。クラブ活動や委員会活動、縦割り活動では異学年で交流したり、協力し合ったりする機会を設けています。その中で特に高学年の児童においてはリーダーとしての役割を意識させ、自分たちで企画運営ができるようにしています。また、運動会や学年発表会では、児童が達成感を味わえるように、全職員が「ねらい」や「育てたい力」を確認して取り組んでいます。

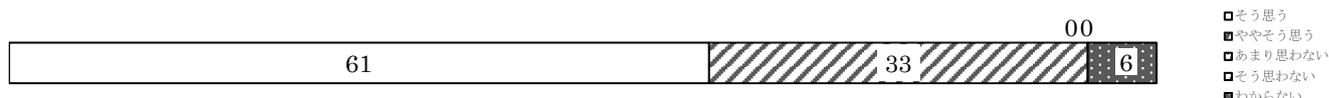
児童 設問 「運動会やいろいろな活動（学級活動・係活動・たてわり活動・委員会やクラブ活動）が、楽しい。」



保護者 設問 「わが子は、行事や諸活動（学級活動・係活動・たてわり活動・委員会やクラブ活動）に喜んで取り組んでいる。」



教職員 設問 「児童が、運動会などの行事、委員会や係活動、たてわり活動に積極的に取り組めるよう働きかけをしている。」



今後に向けて

9割の児童が、行事や学校での活動が楽しいと答えています。また、保護者も9割以上が、児童は行事や活動に積極的に取り組んでいると評価しています。今後も各行事・各活動を通して、児童一人一人がいきいきと活躍できるように心がけていきます。また、児童にとってより豊かな体験活動ができるように、地域の皆様にもご意見ご協力をいただき、取り組んでいきます。

3 学校は、「礼儀正しく思いやりのある子」を育てる指導を積極的に行っている。

学校の取組

本校では、道徳科の時間や学級活動の時間を中心に、学校教育全体を通して思いやりのある行動・行為、その心のもととなる部分に焦点を当て、考えられるように指導しています。集団の中で生活するには、相手を思いやること、きまりや約束を守ることが大切であり、そのよさについて、折にふれ考えさせています。他者と協力し合うことのよさ、相手を思いやることの尊さ、きまりや約束を守ることのよさ、あいさつが人と人をつなぐものであることに気付き、自分で考え、よりよい行動ができる子を育てたいと考えています。

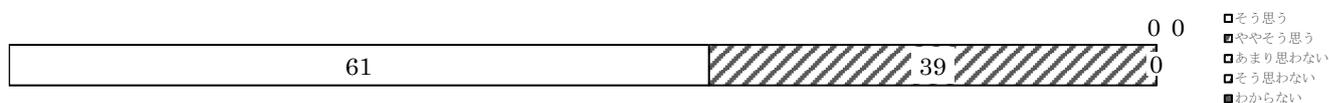
児童 設問 「自分からあいさつし、きまりを守って生活している」



保護者 設問 「わが子は、挨拶がよくでき、きまりを守って生活している。」



教職員 設問 「私は『礼儀正しく思いやりのある子』を育てる指導に積極的に取り組んでいる。」



今後に向けて

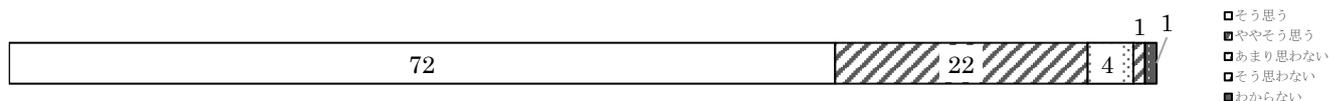
90%近い児童や保護者が、児童は「あいさつをし、きまりを守って生活している」と答えています。児童自身が、地域の方や保護者から大切にされている存在であることを実感し、そのつながりを意識できるよう働きかけることで、より進んで挨拶ができる子、周囲の人への感謝の気持ちや思いやりをもって行動できる子に育てたいと考えています。今後も、学校・家庭・地域との連携を深めながら、自分からあいさつができる子、思いやりのある子を育てていきます。

4 児童は友人や先生との学校生活に満足している。

学校の取組

本校では、児童の主体的な活動や異学年交流による体験的な活動などに取り組んでいます。今年度は、縦割り活動を多く行い、児童が活躍できる場をさらに増やしました。代表委員会で児童が提案した、運動会での縦割り種目が実現するなど、児童同士のつながりが深まるような活動を充実させてきました。学校が児童にとって居心地がよく、安心して生活できる場となるように努めました。また、児童や保護者のニーズに応じた学習支援や教育相談などの充実にも努め、スクールカウンセラーを活用した教育相談や支援を積極的に行っています。教職員は児童のよいところを褒めたり、励ましたりして、一人ひとりの気持ちに寄り添うよう努力しています。

児童 設問 「先生や友だちと一緒に活動できる学校は楽しい。」



★教職員 設問 「児童は、友達や先生との学校生活に満足している。」



今後に向けて

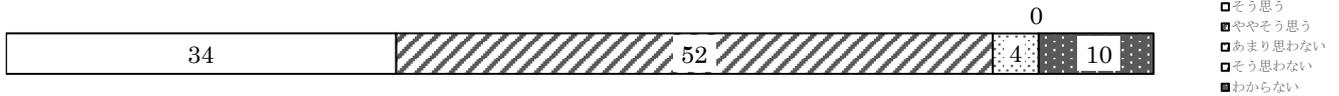
94%の児童が、「学校が楽しい」と答えています。児童が安心して楽しく学校生活を送るために、学級や学年での活動に加えて、異学年での交流の場を設けています。今年度の運動会の縦割り種目のように、児童が主体となって工夫が生まれていくように支援していき、さらに縦や横のつながりが深まるようにしていきます。また、楽しいと感じていない児童については、その理由を明らかにし、寄り添って支援をしていくことを通して、全ての児童にとって「楽しい」と思える学校を目指していきます。

5 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。

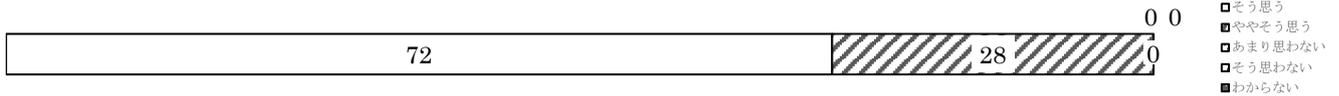
学校の取組

本校では、道徳科の授業で、いじめについて考える時間をもち、すべての児童がいじめを行わず、また、ほかの児童に対して行われるいじめを認識しながら放置することがないように、いじめの未然防止に取り組んでいます。12月には児童会を中心に、いじめを防止するための取り組みを各学年、各クラスで考えました。一人ひとりがいじめを自分事として捉えることができたと感じています。また教職員は、きめ細かく児童の観察をするだけでなく、毎月のスクールアンケートの結果を共有し、いじめの早期発見や早期対応につなげるとともに、長期的な視点で児童の変容を見守っています。いじめが認められた場合には、「いじめ対策等検討委員会」を開き、解決に向けて支援や指導に取り組んでいます。

保護者 設問 「学校は、いじめの早期発見・早期解決・再発防止のための取組を行っている」とらえている。」



教職員 設問 「私は、いじめの早期発見・早期解決・再発防止に努めている。」



今後に向けて

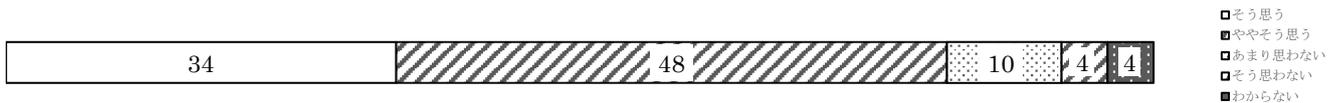
86%の保護者が、いじめ問題に対しての学校の取り組みを認めています。これは、子ども達の関係が深刻になる前に教職員や児童、または保護者が気づき、連携して対処しているからではないかと思われる。一方で、保護者の10%が「わからない」と回答しています。学校の取り組みとしては、見えにくい部分かもしれませんが、今後も学校だより等を通して、いじめ問題への取組や対応策について、積極的に発信したいと考えます。また、いじめの早期発見に努めるとともに、教育活動全体を通して、思いやりの心やいじめをしない・許さない規範意識を育てていきます。

6 学校は、「進んで行動できる子」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。

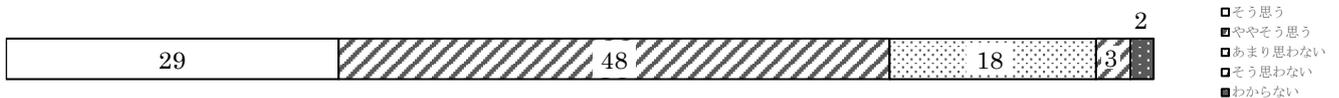
学校の取組

本校では、心と体の健康に留意し、やるべきことはやる「進んで行動できる子」の育成に努めています。担任や養護教諭だけではなく、外部講師を招いて、基本的な生活習慣や健康教育に関する指導を実施し、児童、保護者への啓発を行っています。また、環境美化に進んで取り組むことができるように、全校で黙掃除に取り組んでいます。規則正しい生活習慣をはじめ、時間を守ることも意識できるよう、継続した声かけ・指導をしています。

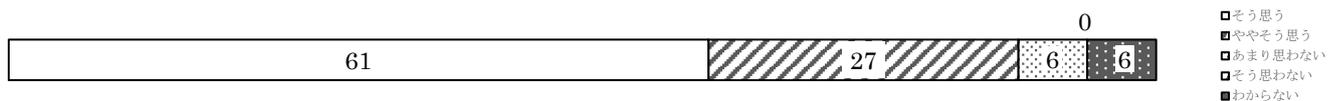
児童 設問 「自分から進んで規則正しい生活をしている」



保護者 設問 「わが子は、健康について教えてもらったことを自ら進んで実行に移している。」



教職員 設問 「私は『進んで行動できる子』を育てる指導に積極的に取り組んでいる。」



今後に向けて

80%以上の児童が「進んで規則正しい生活をしている」と答えています。今後も、心と体の健康に留意し、保健指導を行うとともに、保健便りで家庭と連携を図ることに努めていきます。また、引き続き「生活リズム大作戦」を実施し、「早寝・早起き・朝ごはん」の意識づけを行うとともに、規則正しい生活習慣が送れるように指導していきます。さらに、学校生活の中で時間を守ることが意識できるよう、指導を継続していきます。

7 学校は、児童の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、児童の安全指導は、健康・安全グループを中心に日常指導や問題が発生した場合の即時対応を基本にして取り組んでいます。登下校時には、通学指導ボランティアやPTA・地域の方々に見守りをいただいています。また、通学路の危険箇所の情報交換をしたり、地域やPTAからの要望をまとめて市に報告したりしています。毎月、安全点検日を設け、全職員で校舎内外の施設点検を行い、環境整備に努めています。

教職員 設問 「私は、児童の安全のための指導に積極的に取り組んでいる。」



教職員 設問 「私は、児童の安全のために施設・設備の点検整備に取り組んでいる。」



今後に向けて

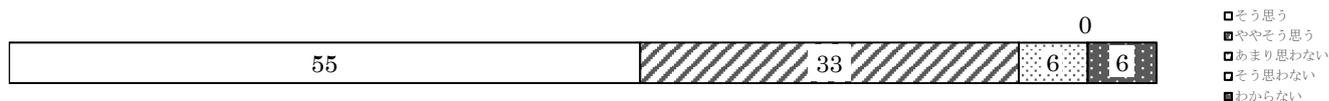
今後も引き続き、通学指導ボランティアの方々や校外委員を中心としたPTAの方々と学校職員が連携し、安全な登下校ができるように努め、消防・防災計画の検証や危機管理体制の徹底に取り組んでいきます。さらに、児童の実態に応じた、より効果のある交通安全教室や避難訓練・不審者対応の訓練を実施し、児童の安全に関する意識を高めていきます。また、施設の点検整備を定期的に行うとともに、下校指導では、歩行の仕方や通学路の安全にも気を配り、児童が安心して生活できる、安全・安心な学校づくりに努めていきます。

8 学校は、児童に応じた支援の工夫をしている。

学校の取組

本校では、一人ひとりのニーズに応じた支援教育をめざし、校内支援体制の充実と他機関との連携に取り組んでいます。「特別支援学級」「ことばの教室」で個に応じた丁寧な指導をするとともに、学習支援にも力を入れています。今年度も各学級でのチームティーチングや、個に応じた学習支援の機会を設け、指導をしてきました。また本校にはスクールカウンセラーが週に一度配置されています。より専門的な知識をもった心理士による教育相談を充実させています。

教職員 設問 「私は、個々の児童に応じた支援の工夫をしている。」



今後に向けて

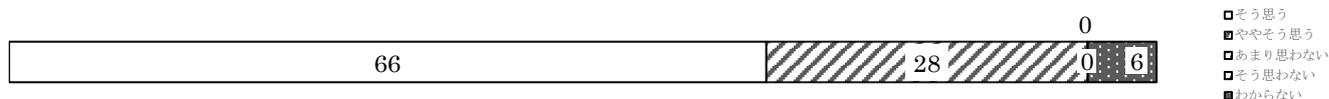
来年度も学習支援者の協力を得ながら、全職員で情報を共有し、学校全体でどのように支援をしていくか検討をしていきます。また、教育相談コーディネーターを中心として、スクールカウンセラーや外部機関との連携を図ったり、市の相談員等に依頼をしてケース会議を開いたりしながら、支援を必要としている児童に対して、よりよい支援ができるように努めます。また、校内で研修会を開き、教職員が支援教育に関する正しい専門的な知識を持ち、理解を深められるようにしていきます。

9 校長を中心とした運営組織になっている。

学校の取組

本校では、校長の学校経営方針を受けて、所掌内容ごとに4つのグループ（「カリキュラム・地域連携」「研究・研修」「健康・安全」「児童指導・支援・相談」）があり、総括教諭を中心に企画・運営をしています。それぞれのグループが定めた重点目標に向かって取り組み、学校教育目標の具現化を図り、学校が組織として機能するように取り組んでいます。

教職員 設問 「私は、運営組織の一員として協力して仕事に取り組んでいる。」



今後に向けて

来年度も学校教育目標をもとに、各グループが重点目標を定め、今年度の反省を生かして業務を改善し、学校運営に取り組んでいきます。全教職員が個々の特性を生かし、落合小学校の子どもたちのため、力を合わせていきます。また、4つのグループ間で日々連携を図り、経験の浅い教職員の人材育成に努めながら、学校教育目標の具現化に向け、全職員が一丸となって取り組んでいきます。

10 学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。

学校の取組

教職員は個人や複数人で教材開発・教材研究に日々取り組んでいます。より個々の力量を高めることをねらって、校内研究では教職員の対話を大切にする新しい取り組みを取り入れています。学年で複数回研究授業を公開することで、学年間の連携を密にしながら、研究授業での気づきや課題が、より普段の授業改善に生かされるようにしています。研究授業前後の協議会では、活発に意見を交わし合い、授業での児童の姿や変容を核とした話し合いを積み重ねています。また、教職員のニーズに沿ったミニ研修にも力を入れています。

教職員 設問 「私は、校内研究に積極的に取り組んでいる。」



教職員 設問 「私は、教師としての力量を高めるための研修に積極的に取り組んでいる。」



今後に向けて

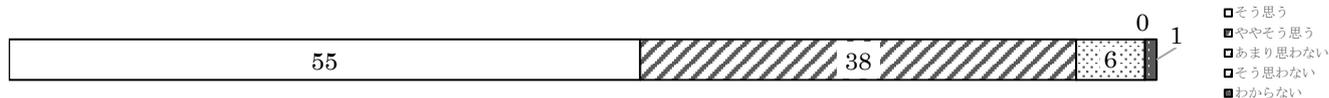
児童の資質・能力を育成するために「どのように学ばよいか」という子どもの目線で教材研究・授業改善に臨み、教職員一人ひとりの授業力を高めていきたいと考えています。そのために、校内研究やミニ研修を通して、教職員同士の対話を一層大切にし、それぞれの持ち味を生かしながら、お互いに高め合える教職員集団を目指します。

1 1 学校は、児童の実態を把握し、よりよい児童の成長のための工夫をしている。

学校の取組

本校では、毎月の職員会議において、全職員で児童の状況を共有して指導にあたっています。毎月スクールアンケートをとったり、丁寧に児童同士の関わりをみとったりすることで、困り感をもっている児童を、職員全体で見守り、支援しています。学校行事や児童会活動などでは、昨年度の反省を生かして、より児童の成長につながるものになるように計画・立案し取り組んでいます。また、発達段階に合わせた教育がスムーズに行われるよう幼保・小・中の連携を図っています。さらに、PTAの会議や学校運営協議会を開催したり、学校評価を実施したりして、地域や保護者の皆様からご意見をいただき、学校の改善に努めています。

保護者 設問 「学校は、子ども達の日常の様子に気を配り、よい点を認め伸ばす努力をしている。」



教職員 設問 「私は、必要な情報を収集し、職員間で情報を共有し、よりよい児童の成長のために工夫をしている。」



今後に向けて

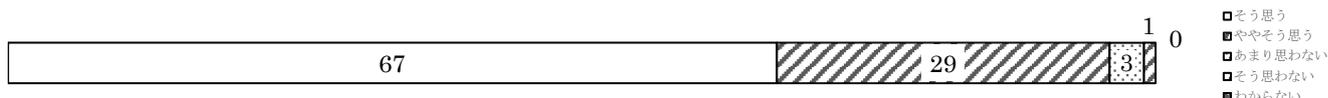
93%の保護者が、学校が子どものよさを大切にした指導をしていると答えています。来年度も、児童と向き合い、よく話を聞き、児童理解に努めていきます。一方で、子どものよさが大切にされていないと感じている保護者もいることも真摯に受け止め、さらに個に応じた指導ができるように努めていきます。また、行事実実施後の振り返りや学校評価を生かして、次年度の教育課程計画の作成をしていきます。家庭との連携を密にとり、相談しながら児童の指導にあたるとともに、より一層、児童一人ひとりが大切にされる学校づくりに努めていきます。

1 2 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

学校の取組

本校では、学校便りや保健便り、学年便り等を発行し、情報提供を行っています。今年度も授業参観や個別面談を実施し、学校と家庭との情報交換などに努めました。運動会や学年発表会などの行事や授業公開は、児童の学習成果の発表の場として、貴重な機会と捉えています。また、保護者へ協力をお願いし、朝学習の時間を利用した読み聞かせの活動を行っています。学校と保護者が連携して、児童の成長へとつながる取組を行っています。

保護者 設問 「個別面談やお便りなどを通じて、子どもの様子を知ることができた。」



教職員 設問 「私は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。」



今後に向けて

96%の保護者が学校からの情報を得ていると答えています。来年度も学校便りや学年便り等の各種お便りを通じて、保護者の方への情報発信を心がけていきます。また、電話連絡や学校配信システムを活用し、必要な情報を迅速にお伝えするようにします。行事等を通して、子どもたちの日々の頑張りや成果を保護者にお伝えできるようにします。個別面談や懇談会では、学校や家庭での子どもの様子を共有し、連携を図っていきます。学校運営協議会やボランティアの方とは、これまでのつながりを大切にしながら、児童の学習活動がより豊かになるよう、連携をしていきます。学校評価でいただいた保護者の皆様の声も、今度の学校運営に生かしていきます。